

行けばわかるさ

こみち 読書の小径 No.100

土岐市図書館 ☎1253

「江戸の暮らし」



佐伯泰英をはじめ、文庫の書き下ろし時代小説がよく読まれています。そうした小説の主な舞台である江戸について、実際の暮らしを探った本を取り上げます。主人公が食べているそばはいくらなのか、お伊勢参りの旅費はどのくらいだったのか。丸田勲『江戸の卵は1個400円!ーモノの値段で知る江戸の暮らしー』では、文化・文政年間の相場を基準に、1文を20円、1分を3万2千円、1両を12万8千円と換算します。ちなみにそばは320円、お伊勢参りに掛かる費用は旅籠賃、食事代、わらじ代、さい銭や土産代までも含めて総額約30万円とか。また本書では、住まいや仕事、食べ物、遊びまで、当時の人々の生活ぶりも詳しく描かれています。

通貨事情を通して江戸時代の人々の暮らしを解説したのが、鈴木浩三『江戸のお金の物語』です。「銭の単位は十進法、金は四進法と十進法、銀ははかりで量って使う」など、複雑だった江戸時代のお金はどのように作られ、稼がれ、使われていたのか。また、借金踏み倒しの常習犯だった某大名など、興味深いエピソードも満載です。

江戸の娘たちにとって、どういう暮らしが幸せだったのでしょうか。武家や商家、農村の縁組の進め方、見合い・婚礼道具・結婚式の模様、その後の結婚生活まで、菊池ひと美『お江戸の結婚』は、画と文で江戸の結婚のかたちと意味を紹介しています。

新刊紹介

書名	著者
化石から生命の謎を解く	化石研究会
現存12天守閣	山下 景子
絶対にゆるまないネジ	若林 克彦
朝つめるだけのお弁当	本田 明子
サムライブルーの料理人	西 芳照
羽生善治の実戦驚きの一手最強100題	森 鶏二
ふむふむ おしえて、お仕事!	三浦しをん
13時間前の未来 上・下	リチャード・ドイッチ

図書館だより

▷8月27日(土)の読み聞かせ会は、特別企画「夏休みおたのしみ工作」です。皆さんご参加ください。

▷臨時休館のお知らせ 図書館システム更新のため、9月26日(月)から10月6日(木)まで臨時休館します。それに伴い、9月13日(火)から25日(日)までは貸出期間が3週間となります。ご迷惑をお掛けしますが、ご理解とご協力をお願いします。

9月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	⑤	6	7	8	9	10
11	⑫	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	⑳	㉑	㉒	㉓	㉔	㉕

※○が休館日です

開館時間	
火~金曜日	10:00~19:00
土・日曜日、祝・休	10:00~17:00

※図書館のご利用は無料です